



か も しょう ぼう

可茂消防



可茂消防事務組合 公式ホームページ <https://kamo-fire.jp/>

可茂消防事務組合 公式Twitter



負^けられない闘^いが、
そこにはある！！



災害などの問い合わせは **0574-66-5478**
(災害情報テレホンサービス)

※令和5年3月2日から電話番号が変わっています。問い合わせの際は、番号のお掛け間違えにご注意ください。
また、119番での災害などの問い合わせはご遠慮ください。

熱中症対策

できていますか？

熱中症は予防が大切！

熱中症は命にかかわる病気ですが、予防法を知ってれば防ぐことができます。熱中症を防ぐためには、「暑さを避ける」「こまめな水分補給」「暑さに備えた体作り」が大切です。次のことに気を付けて生活しましょう。

- 外出は、暑い日や暑い時間帯を避け、無理のない範囲で活動しましょう。
- 涼しい服装を心がけ、外出する際は日傘や帽子を活用しましょう。
- のどが渇く前にこまめに水分を補給しましょう。
- たくさん汗をかいたときは、スポーツドリンクや塩あめなどで水分とともに塩分も補給しましょう。
- 体調が悪いと感じたときは、無理せず自宅で静養をしましょう。
- 暑くなり始めの時期から適度に運動をしましょう。（こまめに水分を補給しましょう。）



令和4年の熱中症による

救急搬送状況

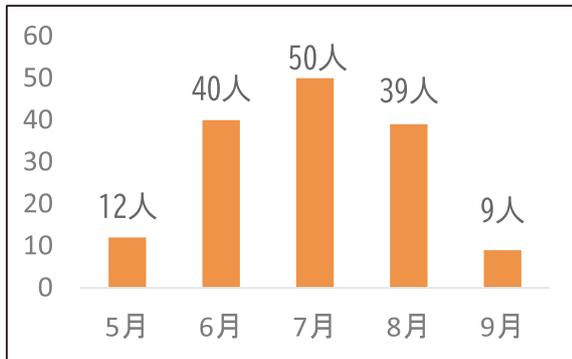
可茂地域では、例年5月頃から熱中症による救急搬送が発生しており、昨年は1500の方が救急搬送されました。

月別救急搬送人員を見ると、本格的な夏の前から増え始め、暑さがやわらいでくる9月まで続いていることがわかります。

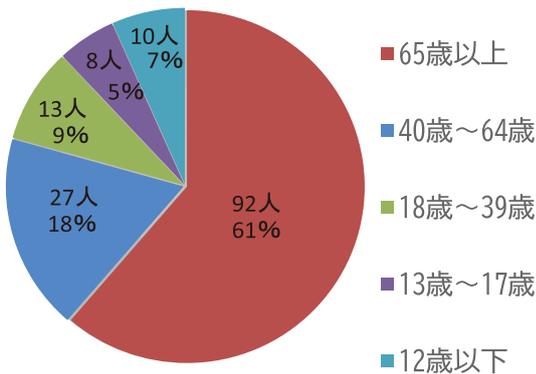
次に、年代別救急搬送人員を見ると、65歳以上が全体の61%と最も多く、次いで40歳～64歳が18%となっています。年齢が高くなるにつれて救急搬送されることがわかります。



熱中症の月別救急搬送人員



熱中症の年代別救急搬送人員



熱中症に
つ注意を！



熱中症かな？と思ったら

◆風通しの良い場所や日かげ、冷房の効いている場所に移動し、衣服をゆるめて体を楽にする。

◆冷たい水で濡らしたタオル・アイスパック・氷などで首筋や脇の下、足の付け根を冷やす。

◆意識がある場合は、冷たいスポーツドリンクまたは薄い食塩水を飲んで水分・塩分を補給する。

意識がない、もうろうとしている、自分で水分がとれない場合は、迷わずに119番通報をしてください！

第51回消防救助技術東海地区指導会に向けて奮闘中！！

引揚救助



5人1組で行い、2人が塔上から降下し、検索活動。要救助者を発見し、塔上の隊員と共に塔上へ救出する引揚救助。

はしご登はん



命綱を結索した後、垂直はしごを15m登はんするはしご登はん。

ほふく救出



煙道内を検索し要救助者を安全な場所まで救出するほふく救出。

令和5年7月27日（木）、三重県鈴鹿市において第51回消防救助技術東海地区指導会が開催されます。東海地区3県の各消防本部の救助隊員が日頃鍛えた消防救助技術の成果を披露するとともに、各県相互の防災連帯意識の高揚を図り、併せて全国消防救助技術大会への出場者の選考を兼ねるものです。また、大会を通じて広く地域住民の皆様にも、消防の技術の高さ、団結力及び熱意をアピールすることで、地域防災に対する関心を高め、消防行政への理解を広めていくことを目的としています。大会の見学は自由となっています。興味のある方は、大会会場へ足を運んでみてはいかがでしょうか。<会場>三重県消防学校（三重県鈴鹿市石薬師町452）

救急医療と救急車は地域の限られた資源

『Q助』案内サイト

全国版救急受診アプリ

Q助

症状の緊急度を素早く判定!!
救急車を呼ぶ目安に!!!

スマートフォン用アプリ

ぎふ救急ネット

解とご協力をお願いします。

「救急医療と救急車は地域の限られた資源」です。今後、高齢化に伴う救急需要の増加は避けられない状況であり、地域の限られた資源である救急医療と救急車について、本当に必要とする方が利用できるよう、ご理解とご協力をお願いします。

可茂地域の救急告示医療機関では、救急患者の集中で、病室が満床状態になり、重症者を受け入れることができない事態も発生しています。さらに、救急車で搬送された方の約3割が、入院を必要としない軽症者です。

可茂地域の救急告示医療機関では、救急患者の集中で、病室が満床状態になり、重症者を受け入れることができない事態も発生しています。さらに、救急車で搬送された方の約3割が、入院を必要としない軽症者です。

います。

可茂地域では、救急出場件数が年々増加しています。昨年は9,874件出場しており、前年と比較して1,681件増加し、過去最多となりました。また、救急出場件数の増加に伴い、救急搬送困難事案（医療機関への受入れ照会回数4回以上、かつ現場滞在時間30分以上）も増加しており、前年と比較し約1.7倍の105件となっています。

そして、令和5年1月から4月末における救急出場件数は、前年同期と比較して300件増加しており、過去最大のペースとなっています。

岐阜県関係機関で活躍する職員

防災航空隊

酒向 秀樹



岐阜県防災航空隊

は、県下の消防本部から計13名の消防官が派遣され、ヘリコプターの機動力及び空中静止能力を活かし、上空から散水を行う火災防ぎよ活動、地上からの救出が困難な場所でのホイス装置を使用した救助活動及び救急活動など、多種多様な任務に対応します。

これからは空からの活動となりますが、訓練を積み重ね、安全に配慮しながら、救急救命士の知識・経験を活かし、活動していきます。そして、県内の消防本部や関係機関と連携を図り、県民の皆さまの生命、身体及び財産を守っていききたいと思えます。



消防学校教官

渡邊 直貴



岐阜県消防学校は、各務原市川島小網町に位置し、年間約2,000人の消防職団員に対して、消防の任務を認識してもらうとともに、人格の向上、知識、技術の習得、体力の錬成、規律の保持などの教育訓練を行っています。現在、本校では消防職員総合教育(初任教育救急科)第1期の教育が行われています。本科は、新たに採用された岐阜県内各消防本部の消防官が、消防活動に必要な知識、技術等を習得するため4月から11月までの約8ヶ月の間、全寮制で訓練を行うものです。

私を含め、岐阜県内の消防本部から派遣された現役消防官などが教官となり、公務員及び消防官として服務義務を理解し、職務意欲旺盛で、住民の期待に応えられる消防官の育成に力を注いでいます。

可茂消防事務組合からは、本年4月に採用された11名の消防官が入校し、「管内住民の安心・安全を守る」消防の使命を果たすため日々訓練及び勉強に励んでいます。



2023年度 全国統一防火標語

「火を消して 不安を消して つなぐ未来」



訓練用水消火器を貸し出しています



火災の初期消火を行うとき、一番身近でしかも簡単に使用できるものが消火器です。

しかし、いざ消火器で消火しようとしても、使ったことがないと慌ててしまい、効果が発揮できません。

そのため、可茂消防では、消火器の操作訓練が簡単にできる「訓練用水消火器」を貸し出しています。

この訓練用水消火器は、一般に普及している水道蛇口に付属のホースを取り付ければ、水道圧だけで簡単に水が充填できるものになっています。

ぜひ、事業所、自治会等の消火訓練でご利用ください。

借用の際は、可茂消防ホームページから申請書をダウンロードし、最寄りの消防署へお申し込みください。

※蛇口に取り付けるだけで簡単に使用できます。



※繰り返し使用することが可能です。

親子で防火について学んでみませんか？

親子消防教室を開催します！

親子消防教室では、火災時の自分の身の守り方や、消火器の取扱い、放水、燃焼実験などを体験していただきます。

また、消防署に待機している消防車や救急車、梯子車などの消防車両を間近で見ることができるKAMO!?

ぜひ、この機会に教室に参加し、防火意識を高めませんか？

日時：令和5年8月20日（日） 午前8時40分～12時00分

場所：可茂消防事務組合消防本部・中消防署

対象：可茂消防管内の小学1年生から6年生までの児童及び保護者

定員：15組30名（定員となり次第締め切り）

申込：令和5年7月18日（火）から7月28日（金）までにメールまたはFAXで消防本部総務課へ申し込みください。なお、受付時間は午前8時30分からとなります。

問合せ：消防本部総務課 広報係 ☎ 0574-26-0144

※ 詳しくは可茂消防ホームページをご覧ください。



令和4年8月に実施した教室の様子（放水体験）



甲種防火管理新規講習のご案内

第1回

●第1回講習日 令和5年8月3日（木）・4日（金）の2日間 午前9時00分～午後4時30分

●受付 第1次 令和5年6月12日（月）～令和5年7月2日（日）*可茂消防管内の事業所に勤務又は居住の方
第2次 令和5年7月3日（月）～令和5年7月14日（金）*第1次申込で定員に達しない場合のみ行い、申込者の制限はありません。

●場所 可児市福祉センター ホール（可児市今渡682番地1）

第2回

●第2回講習日 令和6年1月18日（木）・19日（金）の2日間 午前9時00分～午後4時30分

●受付 第1次 令和5年11月27日（月）～令和5年12月17日（日）*可茂消防管内の事業所に勤務又は居住の方
第2次 令和5年12月18日（月）～令和5年12月27日（水）*第1次申込で定員に達しない場合のみ行い、申込者の制限はありません。

●場所 可児市福祉センター ホール（可児市今渡682番地1）

共通事項

- 定員 いずれも定員120名 先着順
- 申込先 各消防署、分署、出張所（定員になり次第締め切り）
- 費用 防火管理新規講習用テキスト 3,900円



※ 詳しくは可茂消防ホームページをご覧ください。

令和6年4月採用消防官募集!!

- 採用区分
- 採用予定職員数
- 受験資格

消防官
一般消防官 10名程度

大学卒 短大卒	学校教育法に基づく大学、短大（これと同等以上の学歴を含む。）を卒業または令和6年3月31日までに卒業する見込みの人
高校卒	卒業または令和6年3月31日までに卒業する見込みの人

- 受験年齢

平成9年4月2日から平成18年4月1日までに生まれた人



採用試験

- 第1次試験

(教養試験・適性試験)
令和5年9月17日(日) 午前8時50分から
岐阜県立可児高等学校

(体力試験)
令和5年9月18日(月・祝) 午前9時00分から
美濃加茂市中央体育館 (プラザちゅうたい)

- 第2次試験

※第1次試験合格者対象
(口述試験・集団討論試験)
令和5年10月17日(火) 午前8時30分から
可茂消防事務組合 消防本部庁舎

- 受付期間

令和5年7月10日(月) から令和5年7月28日(金) まで
(土・日・祝日を除く午前8時30分から午後5時15分まで)
受験申込書は、令和5年7月3日(月) から消防本部総務課、各消防署(分署、出張所、分遣所)においてお渡しします。

- 申込先

可茂消防事務組合消防本部総務課(庁舎2階)まで本人が持参してください。
(郵送不可)

- 問合せ

申込時に申込書の記載事項等について、簡単な面談を行います。
※詳しくは可茂消防ホームページ (<https://kamo-fire.jp/>) をご覧ください。
可茂消防事務組合消防本部 総務課 ☎0574-26-0144

救急車の適正利用にご理解、ご協力をお願いします。



どこの病院へ行けば良いかわからない場合などは

可茂地域救急医療情報センター ☎0574-25-3799

ぎふ救急ネット

インターネットを利用し、救急医療や医療機関の情報を調べることができます。



📧 広報紙掲載記事について、ご意見・ご要望等ございましたら下記の連絡先までお問い合わせください。

■発行/可茂消防事務組合消防本部 〒505-0044 岐阜県美濃加茂市加茂川町三丁目7番7号

■編集/総務課広報係 TEL 0574-26-0144 FAX 0574-25-4899

(電話受付は土・日曜日・祝日を除く午前8時30分から午後5時15分まで)



この広報は再生紙を使用して、地球に優しい大豆油を使用したインキで印刷されています。